

発信元	琴浦町
担当課	すこやか健康課
担当者	難波浩幸
連絡先	0858-52-1705
令和3年10月20日(水)	

# 人生の終末期の幸せな生活を描き達成を目指す 「琴浦町版エンディングノート」制作に向けて検討 日本財団の支援を受けて「琴浦わたしの未来ノート(仮)制作委員会」を発足

## 琴浦わたしの未来ノート(仮)制作委員会発足及び第1回委員会

主 催 琴浦町(担当課:すこやか健康課)  
日 時 令和3年10月21日(木)午後4時～午後5時  
場 所 琴浦町役場本庁舎第1会議室

## 事業紹介

### ○目的・趣旨

琴浦町では現在、多様な主体が一体となり支えあい、安心して自身が希望する人生の終末を迎えられるまちづくりを目指し構想案を策定し、その実現に向けて取り組みを進めている。

この度、その構想の起点となる自身の希望する人生の終末期における生活や最期の迎え方を表明するツールとして活用する琴浦町版エンディングノート「わたしの未来ノート(仮)」を日本財団支援のもと作成し、普及・活用を行うにあたり、「琴浦わたしの未来ノート(仮)制作委員会」を発足させ、委員会において取り組みを進めることとした。

今後は、この取り組みで完成した「わたしの未来ノート(仮)」を活用して、本人の医療や介護の段階にあったサービス提供や、ケアプラン作成などを行うことで、自身が希望する日常生活・人生の最期にコミットする地域共生の達成を目指す。

### ○関連事業

- ・自身の希望をイメージし言語化を図るワークショップ  
日時 10月25日(月)午後1時30分～午後3時30分  
場所 赤碕ふれあい交流会館(琴浦町赤碕1880-122)
- ・いきいき健康寿命日本一プロジェクト「ことうら健康フェスタ」(情報提供済み)  
日時 11月14日(日)午後1時30分～午後4時00分  
場所 琴浦町生涯学習センター「まなびタウンとうはく」(琴浦町徳万266-5)

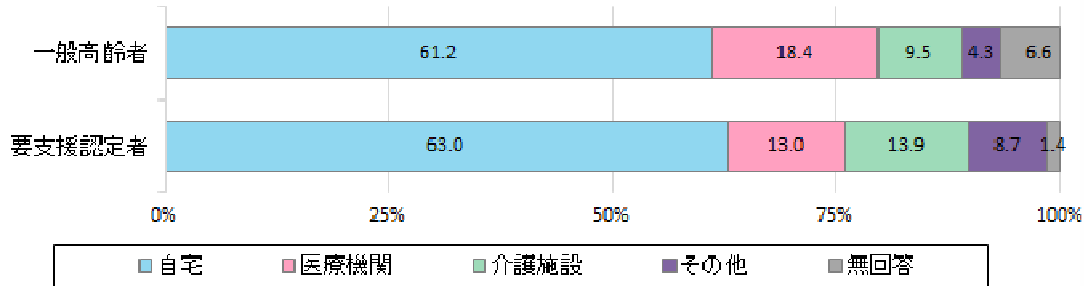
○参考 別添資料「琴浦町 健康活力 全世代が活躍する健康寿命日本一のまち 構想における琴浦町版地域共生社会の形成」(構想案)

# 「琴浦町 健康活力 全世代が活躍する健康寿命日本一のまち」構想における 琴浦町版地域共生社会の形成

～多様な主体がチームで支えあい、安心して自身が希望する最期を迎えられるまちづくり～

## 【令和2年度琴浦町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(抜粋)】

どこで最期を迎えることを希望するか



自分に介護が必要となった場合、どのような生活を望むか



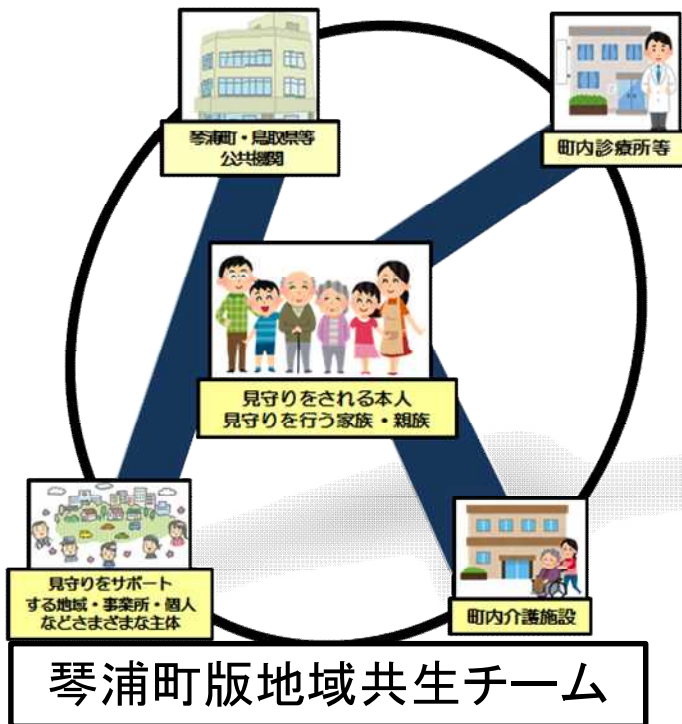
自宅での最期を希望する者は全体の60%程度。しかし実際のところ、要介護状態になっても自宅で生活したい者は、80%以上いる。  
⇒約20%の者は、家族負担を考え遠慮し、自身が希望する最期を選択できないでいる。(理想とのギャップ)

### 【目指す姿】

1. 自身が希望する場所・人といった希望する形で最期を選択し、希望どおりの最期を迎えられる。
2. さまざまな主体が参加し、一丸となり補完しながら見守りをサポートする。
3. 見守りにかかわる人たちが負担を感じることなく見守ることができる。  
(負担の軽減を感じることができる)

### 【テーマ(目指す姿を達成するために)】

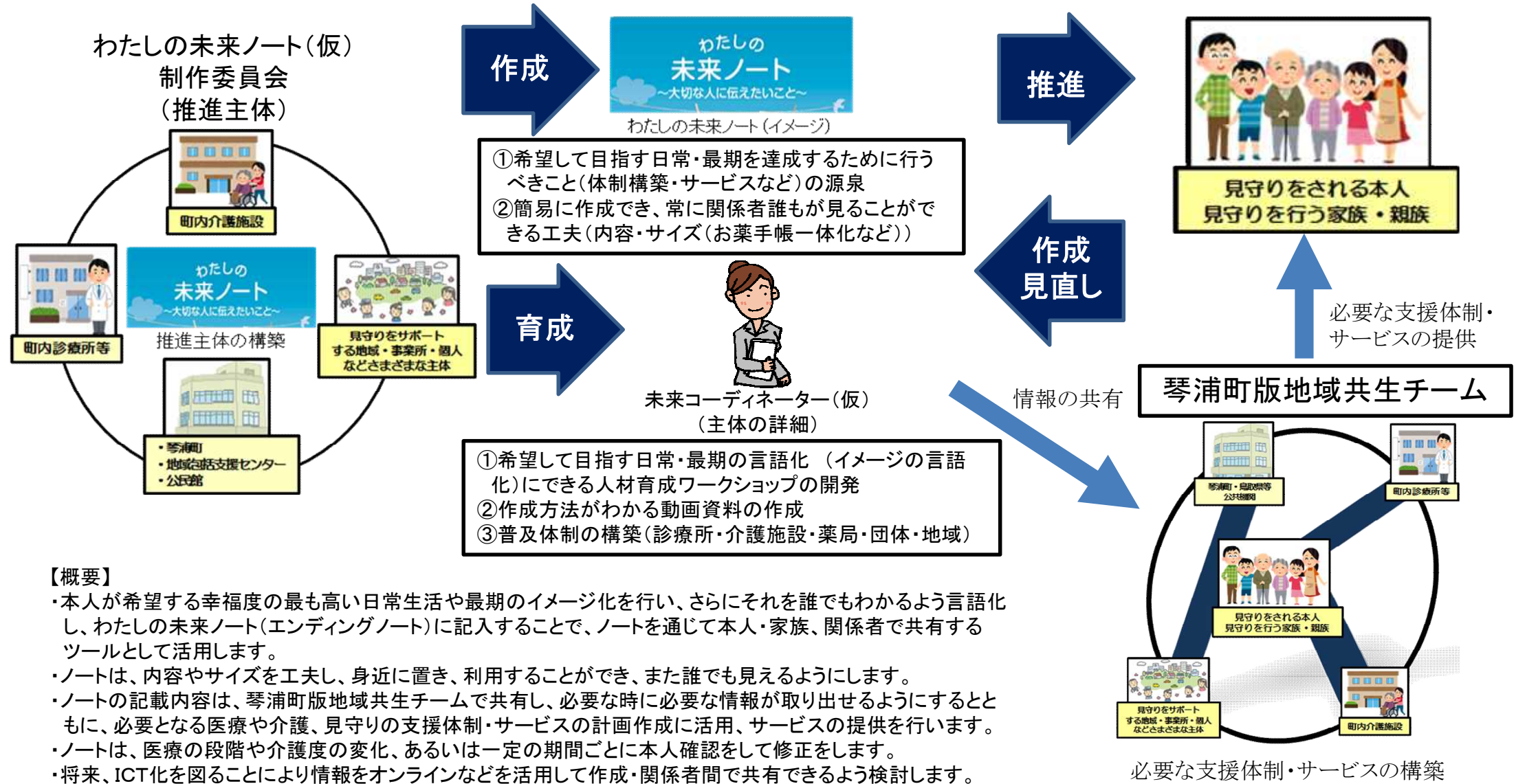
- ① 希望する最期(過ごし方)を個人が表明し、その内容を関係する者全てが共有し、達成を目指す取り組み(「わたしの未来ノート(エンディングノート)」の作成・修正を通じて支える体制チームの連携構築・サービスの提供)
- ② 見守りにかかわる人(親族、医療関係者、介護施設関係者)をサポートするさまざまな主体によるサービスの提供(地域資源を活用した見守り拠点の整備(場所+人材))
- ③ チームがつながり、サポートする体制づくり  
(見守りにかかわる親族、医療関係者、介護施設関係者がICT等を活用し、これまでに無い医療・介護サービスを提供し、医療機関・介護福祉事業所等の負担軽減・人材確保)



# 「琴浦町 健康活力 全世代が活躍する健康寿命日本一のまち」構想における 琴浦町版地域共生社会の形成

～多様な主体がチームで支えあい、安心して自身が希望する最期を迎えられるまちづくり～

## 【テーマ①】 わたしの未来ノート(エンディングノート)を活用した個人が希望して目指す幸福度の高い 未来の日常生活・最期の迎え方を達成するチームの連携構築



### 【概要】

- ・本人が希望する幸福度の最も高い日常生活や最期のイメージ化を行い、さらにそれを誰でもわかるよう言語化し、わたしの未来ノート(エンディングノート)に記入することで、ノートを通じて本人・家族、関係者で共有するツールとして活用します。
- ・ノートは、内容やサイズを工夫し、身近に置き、利用することができ、また誰でも見えるようにします。
- ・ノートの記載内容は、琴浦町版地域共生チームで共有し、必要な時に必要な情報が取り出せるようにするとともに、必要となる医療や介護、見守りの支援体制・サービスの計画作成に活用、サービスの提供を行います。
- ・ノートは、医療の段階や介護度の変化、あるいは一定の期間ごとに本人確認をして修正をします。
- ・将来、ICT化を図ることにより情報をオンラインなどを活用して作成・関係者間で共有できるよう検討します。

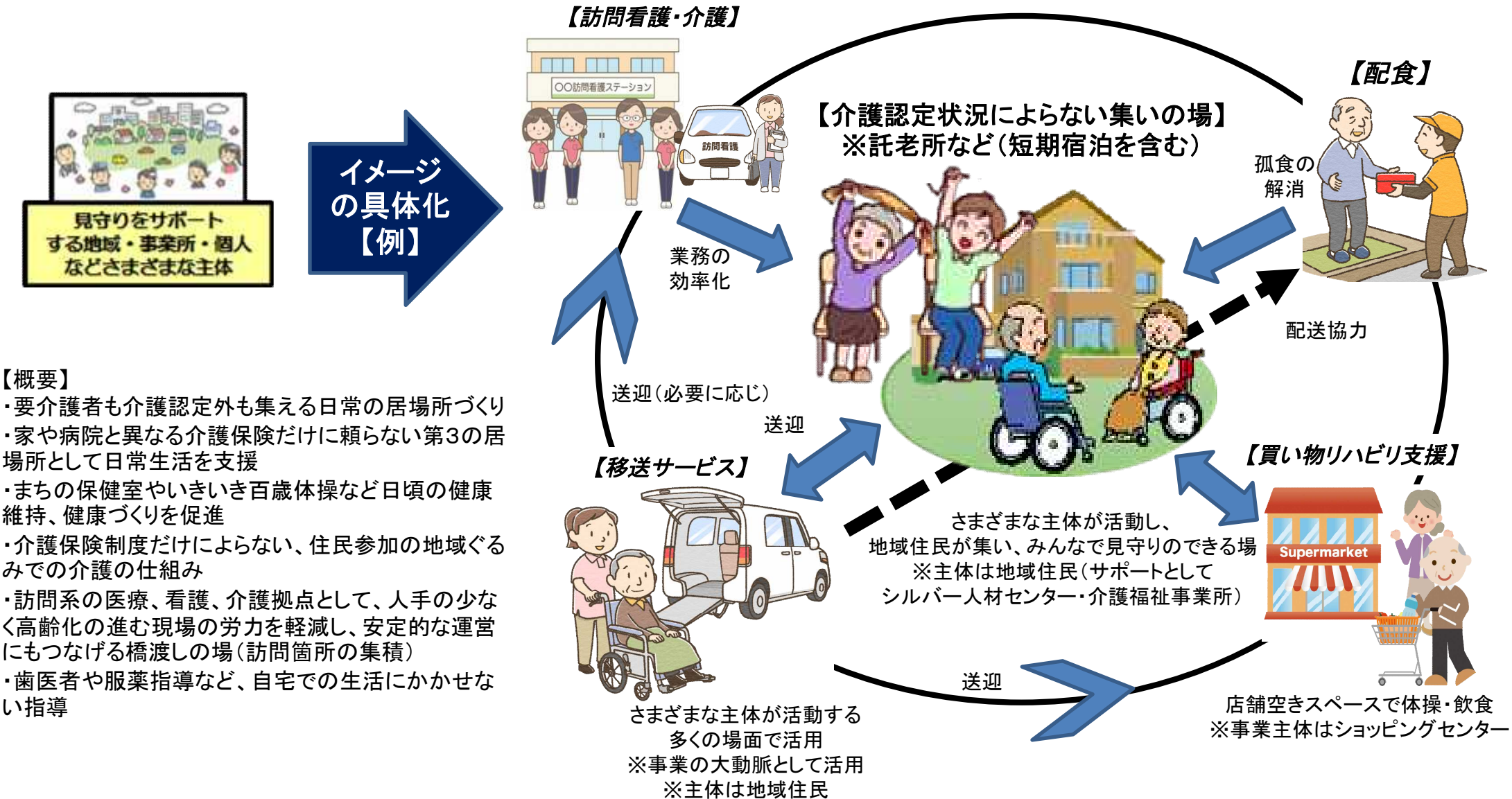


# 「琴浦町 健康活力 全世代が活躍する健康寿命日本一のまち」構想における 琴浦町版地域共生社会の形成

～多様な主体がチームで支えあい、安心して自身が希望する最期を迎えられるまちづくり～

## 【テーマ②】 さまざまな主体によるサービス提供(地域資源を活用した見守り体制の確立(拠点・人材))

地域の施設・事業所・団体・住民など多用な主体の活躍によるささえあいによる本人・見守りにかかわる家族・親族等の負担軽減



# 「琴浦町 健康活力 全世代が活躍する健康寿命日本一のまち」構想における 琴浦町版地域共生社会の形成

～多様な主体がチームで支えあい、安心して自身が希望する最期を迎えられるまちづくり～

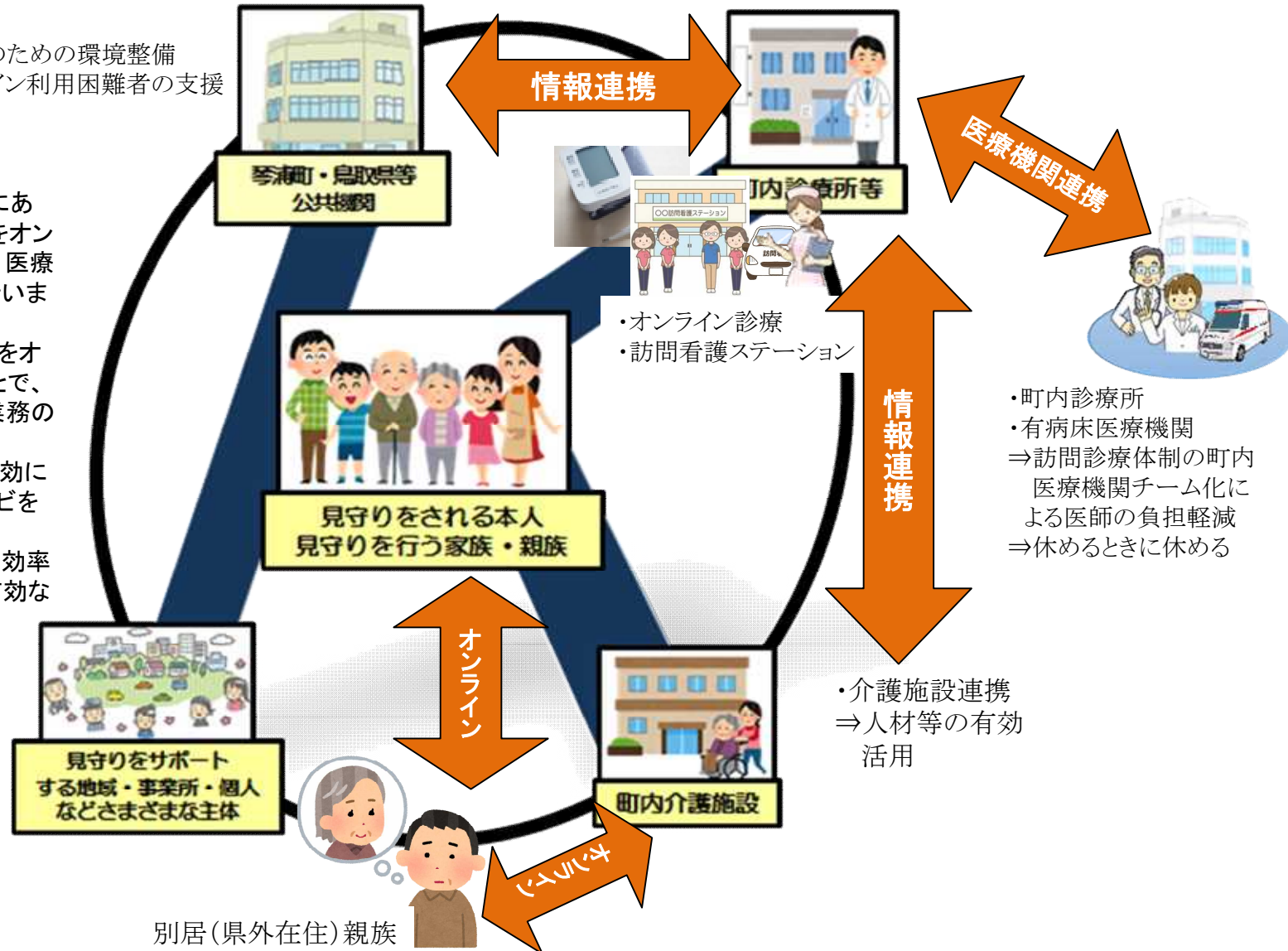
## 【テーマ③】 オンライン・ICTを活用したチーム連携、サポートする体制づくり(業務効率化・人材確保)

見守りにかかわる医療機関・介護福祉事業所をオンラインでつなげることによる訪問診療・看護・介護の業務効率化(省力化)・人材確保

- ・オンライン体制の確立のための環境整備
- ・高齢世帯などのオンライン利用困難者の支援(訪問看護など連携)

### 【概要】

- ・国等によるオンライン診療の制度等の整備状況にあわせ本人と医療、医療機関同士といった関係者をオンラインでつなげることにより、訪問診療の省力化、医療機関連携による強固な地域診療体制の構築を行います。
- ・見守りされる本人の自宅・介護場所と関係機関とをオンラインのシステムで繋げ、見守りに活用することで、本人・家族の不安軽減や見守り、看護、介護の業務の効率化を目指します。
- ・このため、町内全域をカバーするCATV回線を有効に活用し、高齢者に日頃から最もなじみのあるテレビを利用したオンライン環境の整備を検討します。
- ・訪問看護、訪問介護や施設介護の現場での業務効率化と、離れた家族の絆を結ぶ活用を図るため、有効なオンラインサービスなどを検討します。



・町内診療所  
・有病床医療機関  
⇒訪問診療体制の町内医療機関チーム化による医師の負担軽減  
⇒休めるときに休める

・介護施設連携  
⇒人材等の有効活用

・オンライン診療  
・訪問看護ステーション